

20th. Anniversary

AWARDS

OIOS 2005 GRAND CHAMPION  
Den. New Guinea PN98aF



OKINAWA INTERNATIONAL ORCHID SHOW 2006

沖縄国際洋蘭博覧会

VOL.20 2006

# Guidelines for Applications

## 実施要綱

### 沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会組織（委員名簿）

役職	氏名	所 属	役職	氏名	所 属
実行委員長	富田 祐次	(財) 海洋博覧会記念公園管理財団 理事長	委 員	外間 勝嘉	沖縄県花卉園芸農業協同組合 代表理事組合長
副委員長	嘉数 昇明	沖縄県副知事（土木建築部担当副知事）	”	渡嘉敷正彦	(社) 沖縄県造園建設業協会 会長
委 員	国吉 秀治	沖縄県農林水産部長	”	赤嶺 羊染	沖縄県華道連盟 会長
”	宜名真盛男	沖縄県観光商工部長	”	翁長 幸子	(社) 日本フラワーデザイナー協会 沖縄県支部長
”	末 吉 哲	沖縄県土木建築部長	”	安里 靖	(社) 日本生花通信配達協会 沖縄県支部長
”	畑 信裕	日本洋蘭農業協同組合 組合長	”	豊平良孝	沖縄タイムス社 文化事業局長
	大城 榮治	沖縄県蘭協会 会長	事務局長	花城 良廣	(財) 海洋博覧会記念公園管理財団 事務局長
	小橋川邦夫	沖縄県農業協同組合 常務理事	事務局	西路 宜孝	(財) 海洋博覧会記念公園管理財団 植物課長

## ■実施団体■

### 1. 主催

沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会  
内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所  
(財) 海洋博覧会記念公園管理財団

### 2. 共催

沖縄県蘭協会、沖縄県農業協同組合、沖縄県花卉園芸農業協同組合、(社) 沖縄県造園建設業協会、日本洋蘭農業協同組合、(社) 日本フラワーデザイナー協会、(社) 日本生花通信配達協会、沖縄県華道連盟

### 3. 後援

〈行政〉内閣府、外務省、農林水産省、国土交通省、文化庁  
沖縄県、沖縄県教育委員会

〈団体〉日本・蘭協会、全日本蘭協会、蘭友会、(社) 日本造園建設業協会、(社) ランドスケープコンサルタンツ協会、(財) 日本花普及センター、(社) 日本家庭園芸普及協会、(社) 日本植物園協会、沖縄県市長会、沖縄県町村会、沖縄県商工会議所連合会、沖縄県商工会連合会、(社) 沖縄県経営者協会、沖縄県緑化種苗協同組合、(社) 日本旅行業協会沖縄県支部、(社) 沖縄県バス協会、(社) 全国旅行業協会沖縄県支部、沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合、(社) 沖縄県ハイヤー・タクシー協会、沖縄県個人タクシー事業協同組合、那覇個人タクシー事業協同組合

〈マスコミ〉NHK沖縄放送局、琉球放送(株)、沖縄テレビ放送(株)、琉球朝日放送(株)、(株) ラジオ沖縄、(株) エフエム沖縄、(株) 琉球新報社、(有) 沖縄観光速報社、沖縄パシフィックプレス社

### 4. 特別協賛

全日本空輸(株)、(株) 沖縄タイムス社

## ■実施要領■

●一般公開／平成18年2月4日(土)～2月12日(日)までの9日間

●会 場／海洋博公園 熱帯ドリームセンター

●審査会／平成18年2月3日(金) AM10:00～PM5:00

### ●審査規定／

① 認定審査部門／一般に認定されていない新花を対象とし、あらかじめ定められた評価基準により審査委員の持ち点の平均点で次の各賞が認定されます。

- ◎ FCC 賞 90点以上
- ◎ A M 賞 80点～89点以上
- ◎ HCC 賞 75点～79点以上

② コンクール審査部門／投票で選出され次の賞が認定されます。

- ※最優秀賞：出展された全ての洋蘭を対象とし、最も優れた作品を選考する。選考は審査委員の投票によって決定する。
- ※優 秀 賞：鉢物審査、切花審査、ディスプレイ審査、フラワーデザイン審査、外国出展審査のそれぞれを目的として出展された洋蘭又は作品を対象とし、各部門で最も優れた作品を選考する。各賞は、審査委員の投票によって決定する。
- ※優 良 賞：優秀賞の選考基準に準ずる。
- ※奨 励 賞：優秀賞の選考基準に準ずる。

### ●表彰規定／

① 認定審査部門

- ◎ FCC 賞 若干名……最高額100万円
- ◎ A M 賞 若干名……最高額 70万円
- ◎ HCC 賞 若干名……最高額 30万円

② コンクール審査部門

※最優秀賞

沖縄国際洋蘭博覧会大賞(内閣総理大臣賞)………1点100万円

※優秀賞

- ・鉢物審査の部 沖縄及び北方対策担当大臣賞……1点30万円
- ・切花審査の部 農林水産大臣賞………1点30万円
- ・ディスプレイ審査の部 国土交通大臣賞………1点30万円
- ・フラワーデザイン審査の部 文部科学大臣賞………1点30万円
- ・外国出展審査の部 外務大臣賞………1点30万円

※優良賞

- ・鉢物審査の部 沖縄総合事務局賞………1点20万円
- ・切花審査の部 沖縄県知事賞………1点20万円
- ・ディスプレイ審査の部 沖縄県知事賞………1点20万円
- ・フラワーデザイン審査の部  
日本フラワーデザイナー協会理事長賞………1点10万円  
日本生花通信配達協会会長賞………1点10万円
- ・外国出展審査の部 沖縄総合事務局賞………1点20万円

※奨励賞

- ・若干名 (財) 海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞(副賞、各スポンサー賞)

# AWARDS



OKINAWA INTERNATIONAL ORCHID SHOW 2006

## 沖縄国際洋蘭博覧会

### CONTENTS

#### 目次

挨拶..... 2

沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会

委員長 富田 祐次

Greetings

Chairman of Okinawa International Orchid Show

Committee,

Mr. Yuji Tomita

平成17年度入賞作品 AWARDS 2006

- コンクール審査部門 / Competition..... 3
- 認定審査部門 / Certification..... 14
- 審査員名簿 / List of Judges..... 18
- スナップ / Snaps..... 19
- ランに関する講演会 /  
Lecture on the Circumstances of Orchids ..... 26
- 歴代大賞紹介 / History..... 28
- 出展者紹介 / Participants..... 30
- 記念品について / Souvenirs..... 31
- 協賛団体紹介 / Introduction of Sponsors..... 32





## 挨拶 (Greetings)

沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会

委員長 富田祐次

Chairman of Okinawa International Orchid Show Committee.  
Mr. Yuji Tomita

「沖縄国際洋蘭博覧会 2006」の開催に際しましては、多数の出展並びに、絶大なるご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございました。おかげをもちまして、本洋蘭博覧会は盛況裏に終了することができました。

国営沖縄記念公園、熱帯ドリームセンターの開園を機に開催された本洋蘭博覧会も今回で第20回目を迎えることができ、更に、出展内容も今まで以上に充実した成果を挙げることができましたことに対し、厚くお礼申し上げます。

また、国内外の洋蘭専門家を招いての講演会では、多数の参加者による活発なご意見、ご質問があり、本洋蘭博覧会の目的である「情報交換、技術の普及・向上」等の事業が少なからず達成できたものと思います。

出展においては、本県はもとより国内からは27都府県、そして国外からはドイツ、タイ、マレーシア、ミャンマー、台湾から参加があり、また出展内容も国内外からの出展数が多くなる等、これまでにない成果を挙げることができました。

幸い、本県は洋蘭の栽培には気候的な条件等にも恵まれております。国内外の洋蘭愛好者や生産者が一堂に会し親睦の和を広げ、情報交換、技術の普及の場として、また、洋蘭を通じた国際社会の形成と本県の観光並びに花卉園芸の普及、さらには都市緑化にも大きく貢献していくことと思っております。

次回、第21回目を迎える本洋蘭博覧会では、これまでの実績をもとに、新たな目標に向かって努力する所存でありますので、愛好者並びに生産者におかれましても尚一層のご研鑽をご期待申し上げますと同時に、今後とも皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

I would like to take this opportunity to express my deepest gratitude to all exhibitors to the "Okinawa International Orchid Show 2006" and to all those who have so generously provided their assistance and cooperation with the presentation of this event, there by making it such a notable success.

The "Okinawa International Orchid Show" was first held to mark the opening of the Tropical Dream Center at the Okinawa Commemorative National Government Park. This year's show is especially significant in that it marks the 20th of the event. This year's show is on a higher level than ever before, and I would like to thank everyone who has contributed to this.

Lectures given by reknown experts from throughout Japan and abroad feature a lively repartee of questions and opinions. Such occasions lead in sure, steady steps, to the goals of our orchid exhibits: information exchange and progress and dissemination of technical expertise.

Exhibitors this year have come from Okinawa Prefecture itself, from a further 27 Japanese prefectures, from Southeast Asia, notably from the Garman Thailand and Malaysia Myanmar. As befits such a commemorative event, the exhibits have been of unprecedented quantity and quality.

Okinawa is fortunate in possessing a climate ideally suited to the cultivation of orchids; the prefecture is currently in the process of becoming the main center of orchids production in Japan. These circumstances clearly enhance the significance of this event. I believe that Okinawa will become a focal point for the generation of information on orchid production both inside and outside Japan. I also hope that orchids will serve as the medium where by Okinawa can make an important contribution to international society, to tourism within the prefecture, to the diffusion of horticulture, and by extension to the promotion of greenery in the urban environment.

We intend to build on our past achievements and to aim toward the realization of new objectives at the 21th "Okinawa International Orchid Show" to be held next year. In the meantime, I would like to ask both producers and lovers of orchids to raise their standards to yet higher levels. May I also ask you for your continuing support and cooperation with this event.

平成18年2月

February 2006

コンクール審査部門 (Competition)

# 沖縄国際洋蘭博覧会大賞 (内閣総理大臣賞)

(Grand Champion)

*Paph. Lecanum*

川 博久 / Mr. Hirohisa Kawa

岡山県 津山市

努力した甲斐がありました。今回のパフィオベディルムは四十五、六輪ほど花をつけていますが、その花を皆、お客様の前に向けるのにちょっと苦労しました。また、花が反り返らずに済んだには、最低温度を摂氏十度でじっと育てたのがよかったのかなと思っています。これからもランを愛し、老後は家内とともに花をそだててご近所の皆様にも愛でていただき、癒しになってもらえるような暮らしを希望しています。

コンクール審査部門 (Competition)

## 鉢物審査の部

(Potted Plant)

優秀賞／沖縄及び北方対策担当大臣賞

PRIZE : Minister of State (Okinawa and Northern Territories Affairs)



C. Ruth Gee 'Orchidlibrary'



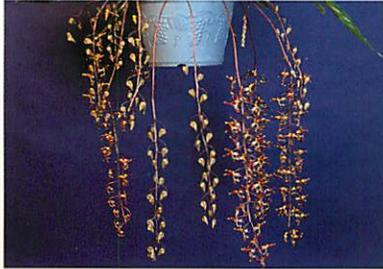
徳本 行雄  
Mr. Yukio Tokumoto  
沖縄県 那覇市

十二月に寒波が来たので、今回は温度調整にかなり苦労しました。その努力が受賞で報われた気分です。二年連続して優秀賞をいただき、これを励みに、内閣総理大臣賞をめざしてますます頑張ろうと思っています。

## 奨励賞 / 海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞



*Coelogyne Cristata* 'SUWADA'  
紙谷 多佳子 / Ms. Takako Kamiya  
賞品提供 / 南部洋ラン愛好会



*Gya. quinquenervis* 'KAIMON'  
桜井 久雄 / Mr. Hisao Sakurai  
賞品提供 / 横須賀洋蘭クラブ



Pot. Love-Love 'Yellow Bird'  
新垣 雄文 / Mr. Yubun Shingaki  
賞品提供 / 蘭友会



*V. lamellata* 'Rinno'  
宮良 都子 / Ms. Kuniko Miyara  
賞品提供 / 全日本蘭協会



*Lyc. Abou First Spring* 'Ikuko'  
新井 郁子 / Ms. Ikuko Arai  
賞品提供 / 北九州洋蘭愛好会



Blc. Pink Empress '日盛'  
伊佐 英仁 / Mr. EiJin Isa  
賞品提供 / 一華暖蘭



Phcal. (*Calanthe First Lady* × *Phaius grandifolius*) 'Sacie Oroku'  
小禄 茂雄 / Mr. Shigeo Oroku  
賞品提供 / 日本蘭協会



*Spa. (plicata × kimballiana)*  
宮城 竹子 / Ms. Takeko Miyagi  
賞品提供 / 日本洋蘭農業協同組合

## 優良賞 / 沖縄総合事務局長賞

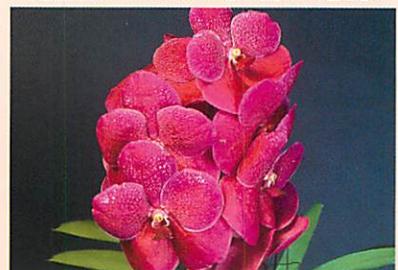
PRIZE : Director of Okinawa General Bureau



*Phrag. Don Wimber*  
中島 文子 / Ms. Fumiko Nakajima



Blc. Lian Herglory '合大'  
喜納 昌久 / Mr. Syokyu Kina  
賞品提供 / CHINA AIRLINES (沖縄支店)



*V. Robert's Delight* '2000'  
Ms. Kamonthip Techachareonsukchila  
賞品提供 / 東京オーキッドナーセリー



*Rhy. gigantea* 'Peachi'  
岡田 浩和 / Mr. Hirokazu Okada  
賞品提供 / (有) らんの里沖縄

コンクール審査部門 (Competition)

## 切花審査の部

(Cut Flower)

優秀賞／農林水産大臣賞

PRIZE : Minister of Agriculture, Forestry and Fisheries



Ren. kalsom

MR. PRAKONG PIMSAMARN

タイ国

受賞のニュースを聞き、大変驚き喜んでおります。評価いただいた皆様、ありがとうございました。今後も良い蘭を出展できるよう頑張ります。

## 優良賞／沖縄県知事賞

PRIZE : Governor of Okinawa Prefecture



Dtps. Mount Lip 'M2'  
町田 文子 / Ms. Fumiko Machida

## 奨励賞／海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞



Den. プリンセスピンク  
久田 友保 / Mr. Yuho Kuda  
賞品提供 / 全日本空輸 (株) 沖縄支店



Onc. ハニードロップ  
具志堅 栄真 / Mr. Eishin Gushiken  
賞品提供 / 日本航空 (株) 沖縄支店



Onc. ミレニアムゴールド  
大城 徹 / Mr. Iwao Ohshiro  
賞品提供 / 沖縄県花卉園芸農業協同組合



Den. カサランカ  
宮城 浩三 / Mr. Hiromitsu Miyagi  
賞品提供 / 沖縄県農業協同組合

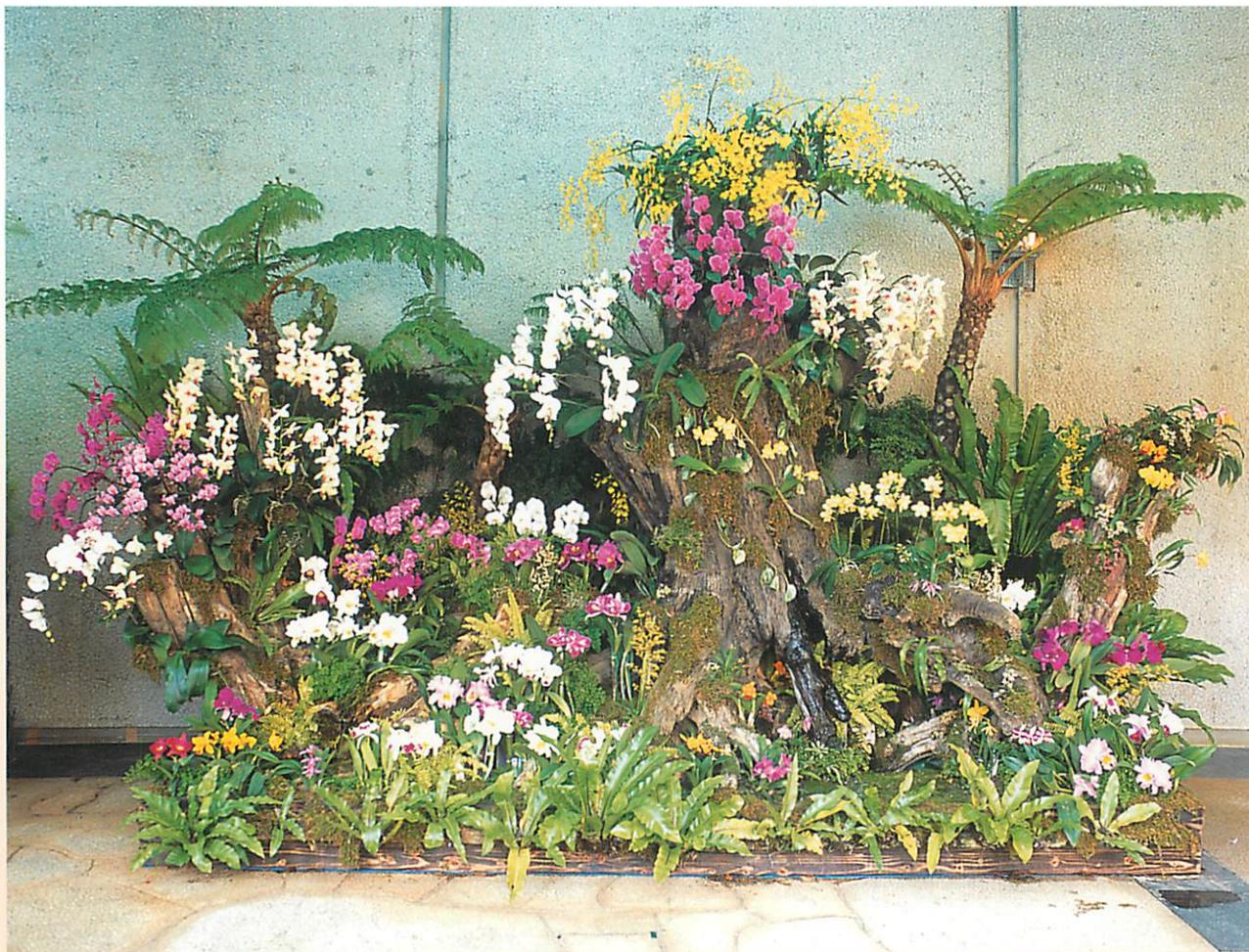


Den. クリスタルホワイト  
長嶺 由守 / Mr. Yoshimori Nagamine  
賞品提供 / 岡山県洋蘭協会

コンクール審査部門 (Competition)  
**ディスプレイ審査の部**  
(Display)

優秀賞／国土交通大臣賞

PRIZE : Minister of Land, Infrastructure and Transport



テーマ／「落花流水」  
沖縄県立北部農林高等学校 林業緑地科

大木の根っこをまずイメージとし、自然体に見せるように仲間たちと工夫した制作しました。今回の受賞は、先生方のご指導業者の皆さんの知恵や技を参考にさせて頂いたお陰です。(生徒代表・宮城元樹)

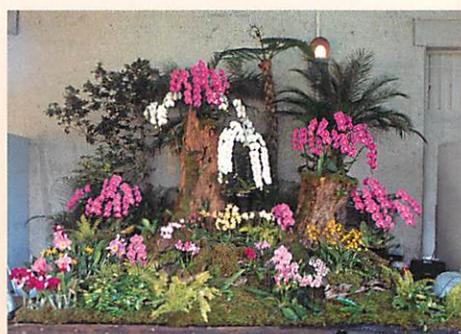
## 優良賞／沖縄県知事賞

PRIZE : Governor of Okinawa Prefecture



テーマ／「泉」～生命の源～ 沖縄県立中部農林高等学校 造園科

## 奨励賞／海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞

テーマ／「命の水」  
(有) 巴恵造園土木  
賞品提供 / (社) ヲト・スケ・フ・コンサルタンツ協会テーマ／「自然は宝の山」  
本部造園(株)  
賞品提供 / (社) 沖縄県造園建設業協会テーマ／「静と響」  
(有) おおとみ造園土木  
賞品提供 / (社) 日本造園建設業協会テーマ／「【苕苕】悠久の美、真に安らぎの時間を  
過ごす極上の空間」  
(株) 平成造園  
賞品提供 / 沖縄県緑化種苗協同組合

コンクール審査部門 (Competition)  
フラワーデザイン審査の部  
(Flower Design)

優秀賞 / 文部科学大臣賞

PRIZE : Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology



テーマ / 「三日月の宴」

洲鎌 広明 / Mr. Hiroaki Sugama

沖縄県 沖縄市

自然をモチーフにした和みのある作品を目指し、今回は夜空に浮かぶ月のイメージして制作してみました。これからも、見ている人に余韻が残るような作品をつくっていきたいと思います。

優良賞／(社)日本フラワーデザイナー協会理事長賞  
PRIZE : Chairman of directors, Nippon Flower Designers Association



テーマ／「風に誘われて」  
山里 勝子 / Ms. Katsuko Yamazato

優良賞／(社)日本生花通信配達協会会長賞  
PRIZE : President of Japan Florists Telegraph Delivery Association



佐喜真 ゆかり / Ms. Yukari Sakima

奨励賞／海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞



テーマ／「和み」  
飯室 宏治 / Mr. Koji Iimuro  
賞品提供 / (社)日本生花通信配達協会 (JFTD)



テーマ／「煌(きらめく)」  
外間 末珠 / Ms. Suemi Hokama  
賞品提供 / (社)日本フラワーデザイナー協会



テーマ／「春のおとづれ」  
島袋 つや子 / Ms. Tsuyako Simabukuro  
賞品提供 / (財)海洋博覧会記念公園管理財団



テーマ／「春雷」  
飯室 宏治 / Mr. Koji Iimuro  
賞品提供 / (財)海洋博覧会記念公園管理財団



上江洲 真知子 / Ms. Machiko Uezu  
賞品提供 / (財)海洋博覧会記念公園管理財団



浅野 留美子 / Ms. Rumiko Asano  
賞品提供 / (財)海洋博覧会記念公園管理財団

コンクール審査部門 (Competition)

## 外国出展審査の部

(Foreign Countries)

優秀賞 / 外務大臣賞

PRIZE : Minister of Foreign Affairs



Lc Orlades Grand 'Tian Mu'

Mr. Perker Wu

台湾

蘭を始めて30年、今回の受賞は私にとって、単なる賞ではなく、品種改良と培養技術の成果が認められたことと、大変喜んでおります。

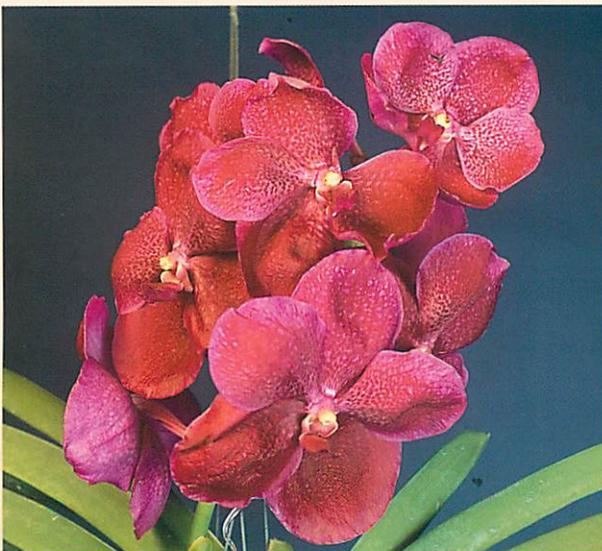
## 優良賞／沖縄総合事務局長賞

PRIZE : Director of Okinawa General Bureau



*Dendrobium uncatum* 'Hsinying'  
Mr. Shui En Kao 台湾

## 奨励賞／海洋博覧会記念公園管理財団理事長賞



Mr. Preecha Techachareonsukchila タイ国  
賞品提供／北部らん友会

V. Star



Mr. Tine Huang Chin 台湾  
賞品提供／沖縄県蘭協会

Rhy. gigantea 'M.G'

# 認定審査部門 (Certification)



*C. lueddemanniana* 'Biwa' AM/OIOS  
竹島 彌二/Mr. Kyoji Takeshima



*Phrag. Don Wimber* 'FN-Bear' AM/OIOS  
中島 文子/Ms. Fumiko Nakajima



*Paph. Glitter Gulch* 'Yellow Fever' AM/OIOS  
黒田 温/Mr. Yutaka Kuroda



*Paph. rothschildianum* 'Hitoshi' HCC/OIOS  
金澤 均/Mr. Hitoshi Kanazawa



*Pheal. (Calanthe First Lady X Phaius grandifolius)* 'Sucie Oroku' HCC/OIOS  
小緑 茂雄/Mr. Shigeo Oroku



*Blc. Pink Empress* '日盛' HCC/OIOS  
伊佐 英仁/Mr. Eijin Isa



*Paph. Screaming Eagle* 'Hibridge' HCC/OIOS  
高橋 淳/Mr. Atsushi Takahashi



*Lc. Blue Pearl* 'Murasakino' HCC/OIOS  
フジ・ナーセリー

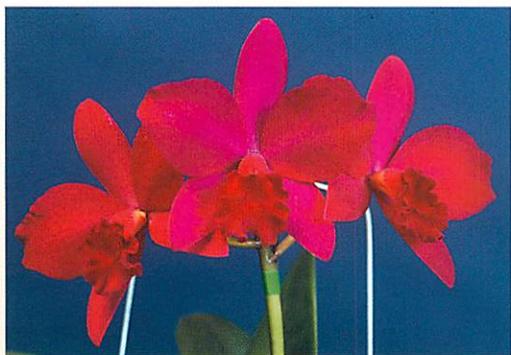
# 認定審査部門 (Certification)



Papb. Royale Splendour 'Magestic' HCC/OIOS  
山本 滋 / Mr. Shigeru Yamamoto



Blc. Pink Empress 'Zue-Shin' HCC/OIOS  
Mr. Perker Wu



Slc. Love Castle 'Kurenai' HCC/OIOS  
呉屋 健一 / Mr. Kenichi Goya



Pot. Love-Love 'Yellow Bird' HCC/OIOS  
新垣 雄文 / Mr. Yubun Shingaki



Rhy. gigantea 'Peachi' HCC/OIOS  
岡田 浩和 / Mr. Hirokazu Okada



Lc. Orglade's Grand 'Tian Mu' HCC/OIOS  
Mr. Perker Wu



Papb. Michael Koopowitz 'Nissho' HCC/OIOS  
黒田 温 / Mr. Yutaka Kuroda



Lc. Frank Lloyd Wright 'Yubun' HCC/OIOS  
新垣 雄文 / Mr. Yubun Shingaki

# 認定審査部門 (Certification)



*V. Robert's Delight* 'TOW' HCC/OIOS  
Ms. Suwana Techachareonsukchila



*Paph. Mystic Knight* 'West Nissho' HCC/OIOS  
木下 未俊 / Mr. Mitoshi Kinoshita



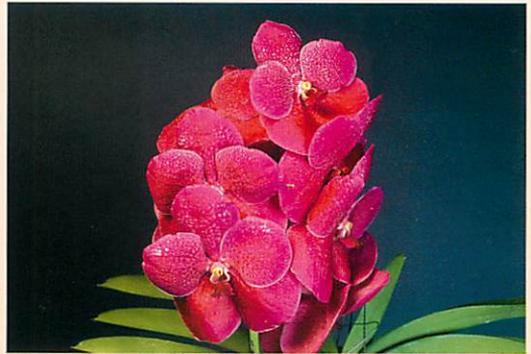
*V. lamellata* 'Rinno' HCC/OIOS  
宮良 博文 / Mr. Hirofumi Miyara



*Paph. Hirose world* 'Grass Moon' HCC/OIOS  
四国大場ラン園



*Paph. Red Shift* 'Black Giant' HCC/OIOS  
Mr. Shui En Kao



*V. Robert's Delight* 'JU' HCC/OIOS  
Mrs. Kamonthip Techachareonsukchila



*Paph. Yellow Tiger* 'Bertsch' HCC/OIOS  
久保 研 / Mr. Ken Kubo



*C. nobilior* 'Kingdom' HCC/OIOS  
フジ・ナーセリー

# 認定審査部門 (Certification)



*Rhy. gigantea* 'Sigeki Kuchina' HCC/OIOS  
小禄 茂雄 / Mr. Shigeo Oroku



*Paph. Julius* 'Kukuru' HCC/OIOS  
齋藤 雅徳 / Mr. Masanori Saito



*Rhy. gigantea* 'Ching Wen' HCC/OIOS  
MR. Tine Huang Chine



*Gga. quinquenervis* 'KAIMON' HCC/OIOS  
桜井 久雄 / Mr. Hisao Sakurai



*Paph. Impulse* 'Pretty Navi' HCC/OIOS  
山本 滋 / Mr. Shigeru Yamamoto



*Ency. vitellina* 'MAYU' HCC/OIOS  
牧 久雄 / Mr. Hisao Maki



*V. Somsri Star* 'TAE' HCC/OIOS  
Mr. Preecha Techachareonsukchila

# 審査員名簿

(List of Judges)

審査委員長 Chairman of Judges

畑 信裕 日本洋蘭農業協同組合 組合長

審査委員 Judges

Dr. Rapee Sagarik : タイ国蘭協会 会長  
 Mrs. Kalya Sagarik : タイ国蘭協会 副会長  
 Mr. Sheh Shun Chen : 台北蘭協会名誉会長  
 Mr. Lutz Roellke : ドイツ蘭協会  
 Mr. Dato' Anuar Bashah : マレーシア蘭協会 会長  
 Mr. Cheah Wah Sang : マレーシア洋蘭生産組合  
 Mr. Hwang Chung Teh Liu : 台湾蘭花産銷発展協会 審査委員長  
 Mr. Kelvin Neil B. Manubay : フィリピン蘭協会 会長  
 Dr. John Elliott : 東南アジア蘭協会 会長  
 Mr. Sutikno Linuhung : インドネシア蘭協会 会長  
 Mr. Shui-En Kao : 台湾仙履蘭協会 理事長  
 Mr. Tine-Huang Chin : 台北蘭協会  
 Mr. Kyaw Nyunt : ミャンマー花卉栽培組合  
 唐澤 耕司 : ラン研究家 理学博士  
 上里 健次 : 琉球大学農学部 教授  
 神原 隆一 : 日本蘭協会 常任理事・審査委員長  
 中島 文子 : 全日本蘭協会 常任委員 公認審査員  
 松原 剛 : 日本洋蘭農業協同組合  
 清水 達夫 : 蘭友会 副会長  
 山下 誠一郎 : 一華暖蘭 副会長

尾湯 守 : 北九州洋蘭愛好会 会長  
 藤 広治 : 岡山県洋蘭協会 副会長  
 喜納 昌久 : 沖縄県蘭協会 副会長  
 福地 恒夫 : 沖縄県蘭協会 事務局長  
 安里 弘 : 沖縄県蘭協会 理事  
 仲本 善宜 : 北部らん友会 副会長  
 町田 繁 : 南部洋ラン愛好会 会長  
 阿嘉 良勝 : 沖縄県農業協同組合 園芸部次長  
 園田 茂行 : 沖縄県花卉園芸農業協同組合 販売部部長  
 佐藤 四郎 : (社) 日本造園建設業協会 副会長  
 大塚 守康 : (社) ランドスケープコンサルタンツ協会 会長  
 新垣 善孝 : 沖縄県緑化種苗協同組合 理事長  
 喜屋武忠信 : (社) 沖縄県造園建設業協会 副会長  
 田村 隆 : 内閣府沖縄総合事務局開発建設部 公園調整官  
 草柳 澄子 : (社) 日本フラワーデザイナー協会 名誉本部講師  
 千本 道雄 : (社) 日本生花通信配達協会 名誉理事  
 山内 晴子 : (社) 沖縄県婦人連合会 理事  
 小松 清 : (財) 海洋博覧会記念公園管理財団 理事長付  
 花城 良廣 : (財) 海洋博覧会記念公園管理財団 事務局長



日本洋蘭農業協同組合 組合長

畑 信裕

## 審査を振り返って

最優秀賞を受賞したパフィオペディルムは、120年ほど前に登録された古いランです。そのランが50輪近くも花を咲かせたことは驚きで、20回の節目にふさわしい結果になったと思います。

今回の全般的な特徴は、大株づくりのものが上位に入ったこと。そして、ディスプレイ審査部門で、高校生たちが上位2賞を独占したことです。業者が参加しているなか、頼もしい快挙です。

沖縄国際洋蘭博は、わが国における大型ラン展の草分け的な存在で、国外からも上質なランが展覧されています。国際交流の場としても今後、ますます期待されます。(談)



# いけばな展

(Ikebana Exhibition)

沖縄県華道連盟の協力を得て9流派による蘭を活けるいけばな展を開催。

期間：平成18年2月9日(木)～12日(日)



## 一葉式いけばな

比嘉 葉泉 (享子)  
譜久村 由泉 (由美子)  
又吉 忠泉 (忠美子)



## 古流松蔦会

潮平 理保 (保子)  
仲本 理美保 (美保子)  
長嶺 理絹 (絹枝)  
兼城 理千 (千鶴)



## 櫻花遠州流

山里 利智 (智代子)  
仲田 利昌 (昌子)  
我那霸 利敬 (敬子)  
平良 利賀 (カズ子)



## 嵯峨御流

仲程 静甫 (静子) 比嘉 康甫 (康江)  
具志堅 節甫 (節子) 仲宗根 順甫 (順子)  
岸本 登美甫 (登美子)  
平良 江美甫 (江美子)



## 華道家元池坊

外間 順子 兼島 ひとみ  
上地 津賀子 仲里 理佳子  
玉城 勝江  
神村 綾子



## 華道草真流

平良 覺泡 (勝子)  
又吉 覺悦 (秀子)  
次呂 久覺祥 (公子)  
平良 覺泉 (奈奈)



## 龍生流

松元 宗紫 (惠美子) 池田 紫冬 (真美子)  
東恩納 宗陽 (美枝子) 仲程 房華 (房子)  
宮里 宗祝 (祝子) 大城 代華 (加代子)  
大城 宗紅 (美貴子) 平良 賀華 (寸が上)  
名護 香華 (由香)



## 草月流

赤嶺 羊染 (勝枝) 古堅 涼望 (エミ子)  
長嶺 幸華 (洋子) 幸地 涼蘭 (麻希)  
玉城 永涼 (明美) 新垣 昭陽 (景子)  
喜納 涼彩 (寸元子) 久場 染楨 (七子)



## 専正池坊

照屋 雅幸 (雅二) 崎浜 和仙 (和美)  
金城 紅柳 (節子) 棚原 綾月 (綾乃)  
花城 春静 (春子) 比嘉 博泉 (祐子)  
玉城 文採 (文乃) 角田 美風 (康子)

# オープニングセレモニー・テープカット (Opening Ceremony · Tape cut)



沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会 顧問 三好勝彦

タイ国蘭協会 会長 Dr.Rapee Sagarik

本部町長 仲榮真 盛順

沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会 委員長 富田 裕次

日本洋蘭農業協同組合 組合長(審査委員長) 畑 信裕

全日本蘭協会 常任委員 中島 文子

(写真:左から)

## 一般公開 (Open to the Public)



洋蘭相談コーナー



洋ラン栽培相談コーナー

展示即売会

# 一般公開 (Open to the Public)

ラン展示会場



# 一般公開 (Open to the Public)

ディスプレイ展示会場



フラワーデザイン展示会場



ミニコサージュ教室



いけばな展



ミニいけばな教室

# 一般公開 (Open to the Public)

## JFTDチャンピオンパフォーマンス



20年のあゆみ展



いけばなデモンストレーション



洋蘭プレゼントクイズ

世界の珍しいラン展



ランと生活展



# 一般公開 (Open to the Public)

タイ王国王宮舞踊



ドンドルマアイスクリーム



雨谷 麻世 / 宮良 多鶴子コンサート

# 表彰式及び懇親会 (Official Commendation)



## 功労者表彰 沖縄国際洋蘭博覧会20周年記念として、審査員並びに出展活動を通じて功労があった方へ表彰を行いました。



- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| ラピー・サガリック(タイ国)    | 玉城 詠光 (沖縄県)        |
| Dr.Rapee Sagarik  | 沖縄県蘭協会 (沖縄県)       |
| 陳 石舜(台湾)          | 北部らん友会 (沖縄県)       |
| Mr.Shen Shun Chen | 本部みさこ (沖縄県)        |
| 唐沢 耕司(長野県)        | 沖縄熱帯植物管理株式会社 (沖縄県) |
| 平安山 良勝 (沖縄県)      |                    |



# ランに関する講演会

## (Lecture on the Circumstances of Orchids)

### Orchid Production in Europe

～ヨーロッパにおけるランの生産と消費～



ドイツ蘭協会  
ルーツ・ウーカー

Lutz Roellke  
German Orchid Society

ヨーロッパにおけるランの歴史は、1815年に「カトリア・ラビアータ」という大きなランの開花に成功したのが始まりである。以来、ヨーロッパのラン愛好家たちは東南アジアや南米など世界中から美しいランを集めた。ランは特別な花であった。1851年には初の人工交配種の栽培に成功し、第一世界大戦後はオランダとドイツを中心にラン生産が徐々に発展したが、ブリーダーが時間と手間をかけ、栽培しやすさや成長速度は度外視して、より質の高い完成度の高い花を作ることには力を注がれた。

しかし1980年までにはメリステムの培養が主流になり、同じ花を大量に作れるようになったため、ランは特別なものではなくなった。ナーセリー(生産農園)は10~20,000m<sup>2</sup>と大規模化し、専門化し一種類のみを大量生産するようになった。メリステムは研究所で培養され、無菌ベンチでプラスチックの容器に入れられ、成長後、箱詰めして出荷される。生産はコンピューター管理され、顧客の要望通りの花の色や大きさを提供できる。

今日、世界最大のラン生産者であるフロリカルチュラ社では、合計250,000m<sup>2</sup>の2つのナーセリーでメリステムと苗のみを扱っている。従業員は研究所で働き、ナーセリーには人の姿は見られない。園内では温度管理、殺虫剤散布、灌水など全て機械化されており、植物の移動もクレーンで行われる。人が入ると細菌感染などのおそれがあるからだ。また研究開発のための空間が20,000m<sup>2</sup>確保されており、花のサイズ、開花時期や期間などの研究が行われている。インターネットを見ると、フロリカルチュラ社のホームページに掲載している花のカタログには写真は一切なく、花の数や大きさがサイズのみが表示されている。販売単位は10,000個からで、現在はコショウランしか扱っていない。ナーセリーでも苗には花の色を示すラベルが付いているので、種類などの細かい記載はない。

先日、2ヶ月前に完成した新しいナーセリーを見学した。2階建ての大規模ナーセリーで、栽培の全工程が自動で行われていた。開花したらコンベアで運ばれ、機械でスキャンされ、品質管理がしやすいように、花の数、茎の数などで選別される。温室というよりは工場といった風情である。このナーセリーの生産量は年間20万個だという。

こうして生産されたランは、せり市やエージェントと呼ばれる中間業者、もしくはスーパーマーケットやフラワーセンターへと出荷され、最終的に消費者の手に届く。

生産されたランの大部分はせり市へ出荷される。せりが始まり商品が出品されると、クロックと呼ばれる時計が回りだす。時間とともに値段が下がっていき、入札者は希望の金額になったときにボタンを押して落札する。植物の値段は毎日大きく変動する。昨年、2本立てのコショウランの最低価格は1,80ユーロ(約270円)、最高価格は母の日の前で22ユーロ(約3,300円)だった。落札価格の予想がつかず、値段が安定しないのがせり市の欠点である。

ここ5、6年、せりを通さずナーセリーから直接買い取るエージェントが登場した。値段の上下するせり市に頼らず、固定の顧客に安定価格で安定供給することが狙いである。ナーセリーから大量に仕入れ、年間を通じて同じ価格でスーパーやフラワーセンターへ供給し、「何月何日に、コショウランを何鉢届けたい」といった注文にも対応してくれる。

従来小売の主流であった面積100m<sup>2</sup>程度の小規模な花屋は競争により数が減少しており、代わって4000~10,000m<sup>2</sup>の大規模フラワーセンターが台頭している。従業員は少なく、極力手をかかずに販売を行っている。フラワーセンターの植物は安値で状態もよいが、種類は乏しい。ランも多く扱っているが、たいてい色もサイズも単一で、同じものがたくさん売っている。お客さんが長く店内にいるよう、コーヒーショップやレストランなどを設けているところが多い。

もう一つの流通経路はスーパーマーケットである。スーパーは食料品、家具、日用雑貨などに加えてランも多く扱っている。現在、ヨーロッパで最もランの売上を上げているのは、家具店であり、IKEAというチェーン店である。スーパーは安値で売り物であり、客引きのために仕入れ価格以下で販売することもある。花の手入れに経費をかけないため、水もやらず、花がダメになっていることも多い。売れないものは捨てられてしまう。

こうした一般の流通経路とは別に、珍しい品種の交配種を作り続けている特殊なナーセリーも数は少ないが存在する。昔のナーセリーのように多くの種類を扱い、世界中の希少なランを集めている。大量に流通しているランに飽きて珍しい品種を求める人々の間では需要が高まっており、将来の展望はよいと思われる。

Orchids in Europe started in 1815 with the flowering of the first large orchid, *Cattleya labiata*. Since, European orchid lovers collected orchids from around the world just for their beauty. Orchids were very special. In 1851, the first hybrid was created, taking orchid cultivation one step further. After WWI, orchid production slowly developed in Holland and Germany. Breeders spent much time and effort to create perfect, high quality flowers without regard for speed or ease of production. By 1980, however, meristem culture became popular, making it possible to propagate the same flower in any amount. Orchids were no longer special. Size of nurseries began to increase, with areas reaching 10-20,000m<sup>2</sup>. Nurseries became more and more specialized, growing only one kind of plant. Now, meristems are cultivated in labs and placed in plastic cups at clean benches. When they reach a certain size, the plants are boxed and shipped to the customer. Everything is computer controlled; labs can provide flowers of any color or size as requested by the customer.

Floricultura, the world's largest orchid producer, currently has two nurseries with a total area of 250,000m<sup>2</sup>. They deal with seedlings and meristems only. People work in labs; you will not see people walking through the nurseries. Everything inside the nursery is automated, including temperature control, spraying, and watering. Plants are transported by cranes. They have a research area of 20,000m<sup>2</sup> to test their own breeding and import to study the size of the flower, and when and how long they flower. When you see Floricultura's website on the Internet, you will notice that their flower catalogue has no pictures; it only lists flower color and size. The minimum order is 10,000 plants. Today, Floricultura's handle only Phalaenopsis. In their nurseries, the seedlings are color-labeled to indicate flower color, but the labels do not show names or detailed description of the plant.

I recently visited a new nursery that was completed just two months ago. The large, two-floor nursery was fully automated. When the flowers emerge, the plants are transported on a belt conveyor, scanned by the computer, and sorted in lines according to the flower color and the number of flowers and spikes to make quality control easier. It was more like a factory than a greenhouse. This nursery produces 200,000 plants per year.

Once produced, the orchids are shipped to auctions, agents, or directly to supermarkets or flower centers, and eventually reach the customer.

The auction is where most plants are sold. When the product is brought to the auction floor, the clock starts to go around, and the price keeps going down. The bidders will press the button the moment they want to buy, and the plant is sold at the price indicated by the clock. The plants can be very cheap or very expensive. Last year, the lowest price for a 2-spiked Phalaenopsis was 1.80 Euro, and the highest price was before Mother's Day at 22 Euros. The disadvantage of the auction is that producers never know how much money they will get.

In the last 5-6 years, a new system developed besides the auction: the Agent. They decided that they did not want to rely on the auction where prices go up and down; they wanted to buy and sell at steady prices to steady customers. Agents receive large amounts of plants from the nursery, and supply them to supermarkets and flower centers at the same price throughout the year. They can also respond to requests like, "I want this many Phalaenopsis on this day."

Traditionally, the main orchid retailers were the small flower shops of about 100m<sup>2</sup>. Today, they are being replaced by large flower centers of 4000-10,000m<sup>2</sup>. They have few employees, and spend little on labor. They sell cheap and healthy plants, but have little variety. Many orchids are sold, but only in one color and one size. Flower centers often have coffee shops or restaurants to make people stay longer.

Supermarkets sell everything: groceries, furniture, tools, and even orchids. The number one seller of orchids in Europe today is a supermarket chain called Ikea, which is known for the furniture. Supermarkets buy in large quantity and sell very cheap. Sometimes, they sell orchids below the purchase price to bring more customers to the store. They cannot afford to spend human labor to take care of the plants, so the plants are never watered and have drooping leaves. If the plants do not sell in a few days, they are thrown away.

Apart from the ordinary orchid businesses described above, there are a few special nurseries that specialize in making rare hybrids. They offer a big variety and collect rare orchids from around the world. These special orchids are much in demand among orchid lovers that are tired of the mass-produced orchids and seek rare species.

# ランに関する講演会

## (Lecture on the Circumstances of Orchids)

### Orchid Industry of Taiwan in Recent Years

～台湾のラン産業における近年の動向～

清華蘭園代表  
高 水恩

Shui-En Kao  
Ching Hua Orchids Co. Ltd.



台湾のラン産業は近年急速に成長している。ランは台湾の農産物の中で最も重要な輸出品であり、その栽培総面積は480ha、総売上は2.5億米ドルを超える。国内・輸出ともに売上1位のコチヨウランは、2003年の輸出高が2601万7千ドルにのぼった。オンシジウムの切花は日本への輸出が最も多く、2003年の輸出高は529万1千ドルであった。シンビジウムは韓国への輸出が最も多い。

台湾でランを生産する利点は多い。まず台湾の自然環境は、夏が25-33℃、冬が10-25℃とラン栽培に適しており、日本や米国に比べランの生育が早い。また標高0-500mでは熱帯、標高400-1000mでは亜熱帯、標高1000m以上では温帯と、地域によって気候が多様なため、それぞれの気候に合ったランが栽培できる。さらに台湾では優良な交配親株が豊富である。1960年代より収集家が日本・アメリカ・ヨーロッパから様々なランを集めてきた上、東南アジアや南米からの新しい種の手も容易である。また1970年代以降、多くのアマチュアが営利や既成概念にとらわれず交配種を作り出してきた経緯もある。近年は国際的な展覧会も多く、ランに関する情報が入手しやすい。政府も花の品質向上にむけて生産者を積極的に支援している。また競争原理から生産者にはコストダウンと高品質が求められているが、台湾では人件費が1日8時間あたり20ドルと安い、親の代から土地を受け継いだ農家が多く、比較的土代が安価である。高温多湿の気候のため病害虫防除が大切だが、殺虫剤や殺菌剤の入手が容易で栽培管理もしっかり行われている。

2005年には台南県に総面積200haの台湾蘭花生物科技園区(TOP)が設置された。第一段階では管理センター、検疫所、展示場、会議室、温室など23ha、第二段階ではラン研究所、大規模な標準タイプ温室、生産温室、水処理場など34haが整備された。第三段階としては追加の温室用に143haが確保され、2007年に向けて整備が進められている。完成後は世界最大のラン生産場となる予定である。展示施設も充実し、毎年の国際展覧会もここで開催される。

商業用のラン生産はファレノプシス(コチヨウラン)を中心に、オンシジウム、カトレア、パフィオペディラム、シンビジウムなどが栽培されている。コチヨウラン生産には温室にパッド＆ファンシステムを導入し、日中34℃以上になる夏は温度を下げ、10℃以下になる冬は暖めている。温室の外壁にはガラス・プラスチック・ポリカーボネートなどが使われ、夏でも30℃以下に保つことが可能となっている。コチヨウランの開花管理には従来、植物を標高1000-1200mの山岳部へ移動させる方法が使われてきたが、輸送の際のダメージを防ぐため、現在ではクーラーのきいたクーリングハウスで開花管理を行うところが多い。

台湾では各地の気候に合わせたランの栽培を行っている。オンシジウムは山岳部の生産が多い。80%が切花用、その他20%は輸出用の鉢物である。カトレアは太陽光の多い台湾中南部で多く生産されている。パフィオペディラムやシンビジウムは標高500-1000mで栽培されている。

こうしてナーサリーで生産されたランの販路としては、台北、タイチン、カオシュンなどで開催される花市、台北などの大都市で行われる日曜市、花屋、他のナーサリーへの卸売、直接発送やブローカー経由による海外への輸出、そして海外のラン博覧会などが挙げられる。台湾国内で行われる地元の展覧ではランの販売は行われていない。

台湾ではランに関する情報交換が活発である。全国レベルの協会としては、台湾蘭花産銷発展協会(TOGA)と台湾パフィオペディラム協会(台湾仙履蘭協会、TPS)がいずれも毎月審査会を行っている。ラン生産者協会のTOGAは審査員80人、審査の勉強をしている人がさらに100人所属している。TPSにはパフィオペディラム専門の審査員が25人おり、花の季節には毎月会合と展覧会を行っている。各県に1つは地元ラン協会があった十数年前に比べると地方レベルのラン協会は減少したが、今でも台南県には3つのラン協会がある。地方のラン協会は一人3、4箇園以上に所属することができ、毎月の審査会はないが、春と秋の年2回のコンテストは必ず実施される。他に本業を持ち、ラン生産を副業とする生産者も多いが、こうしたコンテストで賞をとった花は高値がつき、副業のほうが儲かるという人も多い。

1996年以来毎年実施されてきた国際展覧に加え、2004年には第8回アジア太平洋ラン会議(APOC8)も台湾で開催され、国際的な交流も盛んに行われている。こうした活動を土台に、台湾は世界のランの研究開発と供給の中心となることを目指している。

Taiwan's orchid industry has experienced rapid, extensive growth over recent years. Today, orchids are one of the most important agricultural products that can be exported to other countries. Total growing area is approximately 480 hectares, and total annual sales have reached \$250,000,000 US Dollars. Phalaenopsis ranks number one in plant sales in both local market and exports, with exported value reaching \$26,017,000 US Dollars in 2003. The exported value of Oncidium cut flowers, which are mostly sold to Japan, was \$5,291,000 USD in 2003. Cymbidiums are mostly exported to Korea.

There are many advantages to growing orchids in Taiwan. Its natural environment is suited for orchid cultivation, with summer temperatures ranging 25-33°C and winters ranging 10-25°C. Plants grow more quickly compared to US and Japan. Taiwan's diverse climate is favorable to cultivation of various orchid species, with tropical temperatures at elevations 0-500 m, subtropical temperatures at 400-1000 m, and temperate temperatures at elevations above 1000 m. Taiwan also has high quality breeding plants. Since the 1960's the Taiwanese has collected mother plants from Japan, US, and Europe. Taiwan is also advantageously located to obtain new species from Southeast Asia and South America. Since the 1970's, many amateurs created new hybrids without rules or concern for profit. More recently, many international orchid shows are being held in Taiwan, increasing the information flow on orchids. The Taiwanese government is also supporting orchid growers to make improvements. In terms of management, competition is forcing every grower to cut down on cost while supplying good quality. In Taiwan, labor cost is inexpensive at approximately \$20 USD per an 8-hour day. Land prices are also low in the agricultural areas because most growers inherited their land from their parents. Insecticides and fungicides are easy to obtain in Taiwan, contributing to growth management in the face of the high humidity and high temperatures that require insect and disease control.

In 2005, the Taiwan Orchid Plantation (TOP) was established in Tainan, with a total area of 200 hectares. Stage 1 development included an administration center, quarantine station, exhibition center, conference facilities, and standard greenhouses in an area of 23 hectares. Stage 2 consisted of 34 hectares including an orchid research institute, large-scale standard greenhouses, production greenhouses, and a water process station. Scheduled for completion in 2007, 143 hectares have been set aside mainly for additional greenhouses in Stage 3. When completed, TOP will become the world's biggest orchid production area, and will host international orchid shows every year.

Commercial orchid production in Taiwan today focuses on Phalaenopsis, Oncidium, Cattleya, Paphiopedilum, and Cymbidium. Phalaenopsis growers use fan & pad greenhouses to cool down the day time heat in the summer, which exceeds 34°C, and to heat the plants during the winter, when it drops below 10°C. The outside cover of the greenhouses may be glass, plastic, or polycarbonate, which can keep the inside temperature under 30°C even during the summer. For flowering control, plants were traditionally transported to higher elevations (1000-1200m). Today, however, many growers use air-conditioned greenhouses called cooling houses to avoid plant damage during transportation.

Different kinds of orchids are grown in different parts of Taiwan. Oncidiums are grown in the mountains, with 80% for cut flowers and 20% potted for exports. Cattleyas are grown in the central and southern part of Taiwan, where there is more sunlight. Paphiopedilums and Cymbidiums are cultivated at elevations of 500-1000 m.

Nurseries sell their plants through flower markets in Taipei, Taichung, and Kaohsiung, and at Sunday markets held in Taipei and other major cities. Flowers are also sold to traditional flower shops. Some sell wholesale to other nurseries. Exports are handled through brokers or by direct order from overseas buyers. Some nurseries also sell at overseas orchid shows. There are no plant sales in local orchid shows.

Information exchange on orchids is active in Taiwan. National orchid societies include the Taiwan Orchid Growers Association (TOGA) and the Taiwan Paphiopedilum Society (TPS). Both have monthly judgments. TOGA has 80 judge members and another 100 student judges. TPS has 25 expert judges specializing in the Paphiopedilum genus. During the flowering season, TPS holds meetings and Paphiopedilum shows on a monthly basis. Local orchid societies have decreased compared to over ten years ago, when there was a local orchid society in every county. Yet, Tainan County still has three local orchid societies. One person may join 3, 4, or more local societies. Although the local societies do not have monthly judging, they hold at least two large orchid contests in the spring and autumn. For many orchid growers who have other full time jobs and grow orchids as a side business, winning prizes at these orchid shows bring good income, because show plants can be sold for a good price.

Since 1996, Taiwan has held an international orchid show every year. It also hosted the Asia Pacific Orchid Conference VIII in 2004. With these activities as the springboard, Taiwan seeks to be the world's orchid R&D center and orchid supplier in the years to come.

# 歴代大賞紹介 (History of Grand Champions)



1987 第1回 金賞  
*Lc. Bonanza Vesuvius* × *Blc. Hawaiian present* 'Aloha'  
島袋 仁勇 沖縄県



1988 第2回 大賞  
*Lc. Bonanza Vesvius* × *Blc. Hawaiian Present* 'Aloha'  
当間 幸吉 沖縄県



1989 第3回 大賞  
*Blc. Pamela Hetherington* 'Coronation' FCC/AOS  
宮城 幸栄 沖縄県



1990 第4回 大賞  
「世界から沖縄へ」  
(株)沖縄緑花開発センター 沖縄協同ベルディ(株) 沖縄県



1991 第5回 大賞  
*Eulophiella rolfei* 'Cherry Blossom'  
松永 功 沖縄県



1992 第6回 大賞  
*V. lamellata*  
仲宗根 政子 沖縄県



1993 第7回 大賞  
*Paph. sanderianum* 'Cosmo Twenty'  
合田 一之 東京都



1994 第8回 大賞  
*Paph. St. Swithin* 'Otsu'  
大津 豊隆 神奈川県



1995 第9回 大賞  
*Paph. Lebeau* 'Ryukyu' AM/OIOS  
大城 肇 沖縄県



1996 第10回 大賞  
*Bulb. spiesii* 'Hisa' AM/OIOS  
唐澤 耕司 沖縄県

# 歴代大賞紹介 (History of Grand Champions)



1997 第11回 大賞  
*Den. densiflorum* 'FN-Beat' AM/OIOS  
中島 文子 神奈川県



1998 第12回 大賞  
*Paph. rothschildianum* 'Furuyama' AM/OIOS  
古山 勝巳 千葉県



1999 第13回 大賞  
Blc. Triumphal Coronation 'maruga' AM/JOS  
長束 恵美子 大阪府



2000 第14回 大賞 (内閣総理大臣賞)  
*Angraecum eburneum*  
高橋 國正 香川県



2001 第15回 大賞 (内閣総理大臣賞)  
*Epi. Venus Valley* 'Red Diamond' AM/OIOS  
稲嶺 盛昭 神奈川県



2002 第16回 大賞 (内閣総理大臣賞)  
*Den. primulinum* 'Long Well III' HCC/OIOS  
永井 清 神奈川県



2003 第17回 大賞 (内閣総理大臣賞)  
*Den. speciosum* 'Asuka'  
佐藤 壯夫 奈良県



2004 第18回 大賞 (内閣総理大臣賞)  
Lc. Poor Paul 'Blue Heaven'  
石井 春枝 神奈川県



2005 第19回 大賞 (内閣総理大臣賞)  
*Den. New Guinea* 'FN-Beat'  
中島 文子 神奈川県

## 出展者紹介 (Participants)

鉢物・切花・外国出展審査

<b>【北海道】</b>	松尾 寛治	宗田 利通	星野 良輔	城間 恵子	白間 トミ子
東 弘志	神原 隆一	清水 昭一	中合 イツエ	前原 信雄	伊波 ヒデキ
<b>【宮城県】</b>	中村 正人	住吉 秀文	岩熊 久代	徳田 米蔵	伊波 洋子
岸野 哲也	藤原 良	松岡 勝則	毛利 喜代子	奥間 政正	上間 ふさ子
田中 健一	松尾 幸代	広井 正章	尾瀧 守基	屋宜 力	島袋 哲行
<b>【茨城県】</b>	<b>【兵庫県】</b>	前藤 文二	酒井 経子	山内 昌久	与那嶺 勲
和田 洋	藤井 秀明	前藤 宜弘	日下部 律子	喜納 昌一	小波津 國子
和田 キミ子	横島 文子	前藤 育男	山本 誠治	新垣 善一	城間 礼子
<b>【群馬県】</b>	守本 日吉	寺岡 幹弥	坂本 範之	鏡平名 知育	白玉 利夫
小花 一夫	北瀬 哲子	小林 信夫	新保 ヒナ子	宮城 喜盛	竹田 伸之
<b>【東京都】</b>	牧田 夏雄	高橋 信夫	春田 タエ子	内原 英吉	具志堅 美代子
黒澤 敏行	浜口 浩	<b>【山口県】</b>	金澤 昌代	新垣 雄文	安里 チエ子
三好 勝彦	原本 英美	高橋 郁子	大久保 貞一	(有)仲里園芸	竜一 洋子
笠原 貞男	守本 邦雄	桜谷 孝子	福田 幸吉	(有)新垣洋蘭園	安里 朝榮
(株)大場蘭園	西村 栄子	藤井 妙子	犬飼 美津子	前原 信俊	安里 直樹
<b>【神奈川県】</b>	内田 瞭子	松村 さよみ	岩谷 喜美子	新里 昌重	新垣 政江
石川 晴夫	中尻 利弘	井上 圭子	下園 ハル	仲里 誠徳	具志堅 直樹
重田 裕充	松本 法子	神原 登美子	貝原 京子	棚原 マサ子	新屋 盛実
稲嶺 盛昭	山本 滋	岩本 秀夫	福田 トヨミ	棚原 由美子	名嘉真 宜弘
大津 豊隆	長谷川 安宣	斉藤 孝子	石田 テルミ	石川 清治	石川 悦子
中島 文子	稲田 隆一	藤田 一夫	宿利 千鶴子	山田 博文	呉屋 健一
永井 清	松田 弘子	木下 恭子	<b>【佐賀県】</b>	宮良 渡嘉敷	小禄 重則
金澤 均	足立 剛	片山 郁夫	城本 幹夫	照屋 利美子	名嘉 義明
高橋 真澄	長井 太知子	井上 善一郎	<b>【熊本県】</b>	新垣 園子	名嘉 一美
石井 春枝	松尾 昌子	樹田 昭夫	木下 未俊	照屋 直樹	渡口 文
内藤 実	中谷 弘幸	木寺 幸江	黒田 温	宮城 トミ子	与那嶺 裕作
川本 広	浜口 羊子	小林 英美	若杉 政子	村吉 安子	仲村 洋子
千葉 宏之	島野 靖夫	<b>【香川県】</b>	前田 巳喜雄	祝嶺 秀治	仲村 景耕
岸 美枝子	渋谷 敏明	大場 和夫	田辺 豊茂	棚原 良行	山城 弘美
稲嶺 希	松尾 實章	山崎 恭史	菅 ミサオ	仲里 幸助	名嘉真 勉
紙谷 多佳子	宮崎 敏章	四国・大場ラン園	松村 久	鏡平名 かおり	名嘉真 貞江
佐藤 武	<b>【奈良県】</b>	<b>【愛媛県】</b>	安長蘭園 安長博文	大城 幸一	喜友名 哲男
長嶋 奈加子	古栗 貞	松井 博	安長 茂子	宮城 美智子	伊波 雄山
久保 陽子	貴田 正樹	平山 博愛	丸山野 高子	城間 正守	又吉 康晴
<b>【福井県】</b>	<b>【和歌山県】</b>	黒田 ヨシ子	久保 研	山城 和子	伊波 恒
伊藤 香治	瀬戸内海洋蘭	久保 研	<b>【福岡県】</b>	山田 文子	義満 サエ子
<b>【長野県】</b>	稲葉 司	<b>【福岡県】</b>	桜井 久雄	嶺井 テツ子	花城 由亮
青木 高広	小坂 征夫	小野 義次	<b>【沖縄県】</b>	宮良 都子	長嶺 吉
唐澤 耕司	樋口 茂	清水 俊恵	安里 弘	福地 恒夫	又吉 文子
牧 久雄	吉川 俊恵	小田 豊明	花城 可保	渡名喜 元正	棚原 政子
新井 郁子	紀ノ川オーキット	平野 和子	花城 政輝	伊佐 マリ子	宮城 進
若林 光男	ワイニー 藤木	戸島 笑子	具志堅 栄真	多和田 雪子	宮城 美代子
栗野原 潤	<b>【鳥取県】</b>	高橋 淳	兼城 賢一	喜納 悦子	上里 忠志
松沢 芳美	森 正宣	齋藤 雅徳	山城 喜光	多字 元	久高 サエ子
綿貫 芳文	高田 節子	福岡洋らん会	照屋 清健	平地 ますみ	具志堅 エミ子
山上 宏	森 正一	山岡 桂一	森松 良喜	ピオスの丘・(有)らんの里神縄	比嘉 トシ
笠原 晴道	高田 隆哉	藤野 生田	赤嶺 善助	松田 明美	喜屋武 ヨリ子
矢澤 律子	精山 吟子	生田 茂	仲本 善宣	大城 巖	仲松 弥清
<b>【愛知県】</b>	<b>【岡山県】</b>	久保 蓉子	町田 長嶺	小波津 正雄	
岡田 浩和	塩飽 洋太郎	藤野 淑子	徳村 清裕	高志保園	
(財)名古屋市みどりの協会	倉橋 定男	石橋 エミ子	徳本 行雄	宮城 昌直	
ランの館	フジ・ナーセリー	小野 妙子	徳本 良勝	金城 達広	
近藤 安親	川 博久	坂本 和子	並里 松宏	久田 友保	
<b>【滋賀県】</b>	塩見 進	山崎 みえ子	嶺井 行吉	新垣 壮大	
久保田 貞雄	竹内 ちずか	山田 美代子	新垣 勝信	宮城 竹子	
久保田 慶子	姫嶋 幸一	南 寿美子	平地 正三	新里 典子	
竹島 彊二	神田 裕史	大森 久美子	宮城 浩三	久田 悦子	
<b>【京都府】</b>	河本 栄子	内田 清美	伊佐 英仁	仲真 米子	
繁田 こと美	川 育子	原 吉朗	宮城 裕明	伊芸 百代	
澤井 公和	<b>【広島県】</b>	前田 榮美子	宮城 幸喜	喜納 順子	
吉岡 重子	広島市植物公園	有 高	川上 かおり	棚原 憲彦	
岡村 満則	柳本 昇	本堀 和美		喜納 恵彦	
<b>【大阪府】</b>				喜喜 弘	
別所 和敏				川上 かおり	
長束 恵美子					

## 外国出展審査

## 【ドイツ】

Mr. Lutz Rollke

## 【インドネシア】

Mr. Sutikno Linuhung

## 【タイ】

THAI ORCHID SOCIETY

Mr. Preecha Techachareonsukchila

Ms. Kamonthip Techachareonsukchila

BANGKOK FLOWERS CENTRE CO.,LTD.

Mr. Prakong Pimsamarn

Mr. Pairat Techachareonsukchila

Ms. Suwana Techachareonsukchila

Ms. Jutharat Techachareonsukchila

Mr. Pairote Techachareonsukchila

Mr. Jade Meyanyeam

SAWASDEE FLOWERS CO.,LTD.

Mr. Wannee Fujiki

Mr. Krairit Vejvarut

## 【マレーシア】

Cheah Wah Sang Orchid Farm

Mr. Cheah Wah Sang

## 【ミャンマー】

Mr. U Kyaw Nyunt

## 【台湾】

Mr. Tine Huang Chin

Mr. Shui-en Kao

Mr. Hwang Chung Teh Liu

Mr. Huang Wen Jung

Mr. Sheh-Shun, Chen

Mr. Perker Wu

Ching Hua Orchids

好生蘭園

## ディスプレイ審査

沖縄県立中部農林高等学校  
 沖縄県立北部農林高等学校  
 沖縄全日空リゾート(株)万座ビーチホテル  
 沖縄熱帯植物管理(株)  
 (株)桃原農園

(株)南西造園土木  
 (株)平成造園  
 (株)沖縄庭芸  
 (資)美樹園  
 本部造園(株)

(有)嘉手納造園土木  
 (有)紫光園  
 (有)赤嶺総合造園  
 (有)巴恵造園土木  
 伊良波造園土木

ピオスの丘・(有)らんの里沖縄  
 (有)おおとみ造園土木  
 琉宮城蝶々園  
 (株)花時

## フラワーデザイン審査

## 【沖縄県】

大城 利重子

斉藤 有代

崎山 圭三

新里 直幸

高江洲 均

湊川 モリ子

本部 みさ子

山里 勝子

山城 孝子  
 屋良 朝彰  
 高宮城 実俊  
 阿波根 昌一  
 阿波根 秀子  
 玉城 美雪  
 島袋 美智子  
 西原 嶺子  
 小川 初美

村吉 しのぶ  
 洲鎌 広明  
 佐喜真 ゆかり  
 高江洲 良枝  
 仲西 いつこ  
 金城 真理子  
 仲村 葉月  
 桃原 栄子  
 仲田 るみ子

新垣 弘美  
 外間 末珠  
 平良 千鶴子  
 飯室 宏治  
 国沢 綾子  
 飯室 輝美  
 和田 マリ子  
 赤嶺 彩子  
 伊敷 満

金城 みどり  
 平安山 チエミ  
 富本 薫  
 護得久 智恵  
 浅野 留美子  
 新崎 聡子  
 金城 淳子  
 洲鎌 菜保子  
 国仲 広江

屋我 幸恵  
 知花 竜  
 島袋 つや子  
 天願 博行  
 仲真 豊  
 古堅 房子  
 井手 八江子  
 中俣 美智子  
 謝花 一世

松田 和子  
 山城 恵  
 上江洲 真知子  
 亀谷 望  
 徳森 美智代  
 安里 恵津子  
 平良 多江子  
 安慶名 浪  
 宮里 綾乃

金城 久美  
 久高 哲也  
 小倉 美子  
 湖城 彩乃  
 百瀬 芽  
 安座間 里江子  
 親泊 美希子  
 成合 政幸

## 記念品について (Souvenirs)

## 【入賞記念品】

前田 孝允 Mr. Koin Maeda  
 漆芸作家

沖縄県指定無形文化財「琉球漆器」技能保持者

琉球漆器

琉球漆器は、14世紀の後半、中国との交流が盛んになった時代に確立されたと考えられています。その後日本等の影響を受けながら発展し、15～16世紀頃には中国や東南アジア、日本等に輸出され重要な交易品となりました。

琉球漆器には沈金や螺鈿、箔絵、堆錦等多様な技法があり、その表現力や美しさ、丈夫さで高く評価されています。今回の入賞記念品は、箔絵・漆絵の技法を用いてカトリアとコチョウランを表現しました。



大賞



優秀賞



優良賞

## 【出展記念品】

知念 絹元 Mr. Sekigen Chinen  
 知念びんがた工房 代表者

沖縄県指定無形文化財「びん型」技能保持者  
 経済産業大臣認定「琉球びん型」伝統工芸士

琉球びんがた

びんがたは、古くは琉球王朝時代に婦人の礼装、神事の服装などとして摺り込みの手法で染められたことがその期限であると言われています。その後14～15世紀に東南アジア各国との交流の中で染色の技術を学びとり、現代までその技法が伝えられたものです。

図柄は、絵画のように立体的な図案の構成の中に四季の風物を融合させたものです。びんがたは、沖縄の長い歴史と風土にはぐくまれた世界に誇る染物です。

尚、今回制作しました記念品は、第19回沖縄国際洋蘭博覧会大賞(内閣総理大臣賞)を受賞したDen. 'NewGuinea' FN 'Beat' を沖縄伝統工芸品であるびんがたでデザインしたものです。



# 協賛団体紹介

## Introduction of Sponsors

(順不同)

## ●協賛(商品提供)

日本蘭協会  
 全日本蘭協会  
 日本洋蘭農業協同組合  
 蘭友会  
 沖縄県蘭協会  
 沖縄県農業協同組合  
 沖縄県花卉園芸農業協同組合  
 (社)沖縄県造園建設業協会  
 (社)日本フラワーデザイナー協会  
 (社)日本生花通信配達協会(JFTD)  
 (社)ランドスケープコンサルタンツ協会  
 (社)日本造園建設業協会  
 沖縄県緑化種苗協同組合  
 全日本空輸(株)  
 (有)らんの里 沖縄  
 東京オーキッドナーセリー  
 日本航空(株)沖縄支店  
 CHINA AIRLINES  
 北部らん友会  
 南部洋ラン愛好会  
 横須賀洋蘭クラブ  
 北九州洋蘭愛好会  
 一華暖蘭  
 岡山県洋蘭協会

## ●協賛金

(株)國場組  
 (有)安護建設工業  
 (株)屋部土建  
 金城電気工事(株)  
 (有)全勝組  
 (株)沖縄環境開発センター  
 木下緑化建設(株)  
 (株)葉隠緑化建設  
 沖縄熱帯植物管理(株)  
 (株)富士土建  
 (株)渡久地組  
 (株)良和組  
 沖縄電力(株)  
 (株)大都建設  
 (株)中村緑地建設  
 (有)丸崎建設  
 (株)皆楽園  
 仲程土建(株)  
 (株)日比谷アメニス  
 琉球セメント(株)  
 おおとみ造園土木(株)  
 本部造園(株)  
 ナカヌ興行(株)  
 (株)南西造園土木  
 (株)東亜フォトニクス

金秀グリーン開発(株)  
 (株)蓬莱  
 (有)紫光園  
 オリオンビール(株)  
 沖縄明治乳業(株)  
 沖縄ボトラーズ(株)  
 (株)琉球銀行  
 (株)沖縄銀行  
 (株)協和コンサルタンツ  
 (株)仲嶺造園土木  
 沖縄コカ・コーラボトリング(株)  
 (株)国建  
 緑政計画研究所  
 (株)沖縄海邦銀行  
 (資)本部清掃  
 (有)巴恵造園土木  
 伊良波造園土木  
 (株)平成造園  
 (資)美樹園  
 (有)北部園芸  
 (株)東洋企画印刷  
 (株)アークスタッフ  
 (株)ニュージエック  
 富士フィルムイメージング(株)  
 スギオシタロウ

## 沖縄国際洋蘭博覧会2006

## ■出展者数・出展ラン及び展示総数■

	鉢物審査の部		切花審査の部		外国出展審査の部				ディスプレイ審査の部			フラワーデザイン審査の部				総 合 計		
	出展者数 (人)	出展数 (株)	出展者数 (人)	出展数 (10本1組) (本)	出展者数 (人)	出展数 (株)	出展者数 (人)	出展数 (10本1組) (本)	出展 団体数	鉢物 (株)	切花 (本)	総合デザイン 出展者数 (人)	アレンジメント 出展者数 (人)	ニューブーケ 出展者数 (人)	出展者数 (人)	鉢物 (株)	切花 (本)	
外国 (4カ国 1地域)	-	-	-	-	18	780	9	878	-	-	-	-	-	-	27	780	878	
県外 (23都府県)	221	514	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	221	514	0	
県内 (24市町村)	92	665	30	330	-	-	-	-	19	3,200	680	13	650	30	677	32	625	
合計	313	1,179	30	330	18	780	9	878	19	3,200	680	13	650	30	677	32	625	
公園展示 ラン合計																2,940		
合計																8,099	3,840	
総合計																11,939		



ANAは、  
沖縄を応援します。

いままでも。そして これからも。



国内線のご予約、お問い合わせは、フリーダイヤル ☎0120-029-222  
国際線のご予約、お問い合わせは、フリーダイヤル ☎0120-029-333  
または、お近くのANA指定旅行会社まで。  
ANAホームページ [www.ana.co.jp/](http://www.ana.co.jp/)

地域とともに、地域のために



沖縄電力

浦添市牧港五丁目2番1号 〒901-2602  
TEL(098)877-2341(代表)

郷土の資源で



郷土をつくる

琉球セメント株式会社

ふれあい、いきいき。

Orion  
オリオンビール

MEIJI

県民の健康と生活文化の創造に貢献する

沖縄明治乳業株式会社

〒901-2502 浦添市牧港1-65-1 TEL098-877-5274

Enjoy!  
Coca-Cola  
Trademark Regd.

沖縄コカ・コーラボトリング株式会社



沖縄国際洋蘭博覧会実行委員会  
〒905-0206 沖縄県本部町字石川424番地